

標的型メール攻撃ってなに??

時津警察署 電話095-881-0110

警察が把握したサイバー攻撃(中でも標的型メール攻撃)の認知件数は、平成29年は6,027件、平成30年は、6,740件と年々増加しています。ここでは、「標的型メール攻撃」について解説します。

標的型メール攻撃とは、

ウイルスを埋め込んだファイルを添付したメールを相手に送りつけ感染させて、企業内部の情報などを窃取する攻撃手法のことを言います。

?どんな攻撃方法が確認されているの?

標的型メールは、「ばらまき型」とそれ以外に分けられます。「ばらまき型」は、その名の通り、ウイルスが添付されたメールを不特定多数にばらまく方式です。それ以外は、特定の企業を調査し、その企業の従業員が見るようなメールや添付ファイルを送りつける方法です。平成30年度は、ばらまき型が攻撃の90%を占めています。



??どんな人が攻撃してくるの??

送信元のメールアドレスは、全体の98%が偽装されていると考えられています。

警察では、国際的なハッカー集団「アノニマス」を名乗る者が、21組織に対して「サイバー攻撃を実行した」とする犯行声明をSNS上で掲載している状況を確認しています。

??? どうすれば防げるの ???



実行ファイル形式(.exe)、スクリプト形式など、通常ではありえない拡張子(ファイル名末尾の「.」以下の文字列)や圧縮ファイル(.zipなど)などの添付ファイルは要注意! メール内容に不審点がなくとも、不審なアドレスからのメールは開かない。



◎ 安易に添付ファイルを開かないで! ◎